

甲斐駒ヶ岳（黒戸尾根）山行報告

(山城) : 南アルプス北部 (前衛)

(コース) : 竹宇駒ヶ岳神社⇄黒戸尾根 (七丈第二小屋素泊まり泊) ⇄甲斐駒ヶ岳 (往復)

(日時) : 平成 27 年 5 月 1 日 (金) 夜~5 月 3 日 (日)

(天候) : 2 日間とも快晴

(参加者) : (CL) 田中孝平 狩野順一

(山行タイム) :

5/1 (金) 千葉市役所 19:00=湾岸道・中央高速蕪崎 IC=R20=尾白川溪谷駐車場 22:30 (仮眠)

5/2 (土) 駐車場 7:15~竹宇駒ヶ岳神社~黒戸尾根~刀渡~5 合目~七丈第二小屋 15:07 (素泊まり)

5/3 (日) 七丈小屋 5:00~駒ヶ岳山頂 8:00~七丈小屋 10:00 (10:20 発) ~黒戸尾根~竹宇駒ヶ岳神社 15:00~駐車場 15:10=尾白の湯 (入浴) =往路を帰途に付く=千葉 21:30

(山行報告)

5/1 (金夜) 前夜に千葉を早く出た為、登山口駐車場に早く入れ、狩野さん車 (ハイース) の広い座席に 2 人なのでラクチンでゆっくりと寝ることができ、三大急登の為に少しでも体を休める事が出来た。



尾白川溪谷公園駐車場

尾白川溪谷公園駐車場はトイレのある正規の駐車場の他に 30m ほど手前に大型車と小型車の広いスペースがあり朝早い分には十分に停める事が出来る。

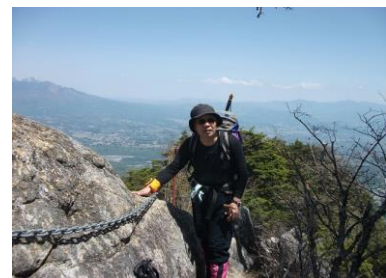
但し:この溪谷一帯がキャンプ場やアウトドア関連の施設があり連休などの昼間は混み合うと思われる。

5/2 (土) ゆっくりと目覚めたが、外は日差しも強く暑い登山が予想される中での出発となった。

準備体操をしていると山岳指導の警官が来て色々と言っていた事で、コンパスの入下山管理が山梨県でも 5 月 1 日から行えるようになったと、今後の利用を勧められた。(コンパス=ガイド協会が設立した入下山システムで岐阜県・長野県・静岡県・神奈川県・山梨県の県警が協定を結び登山届をコンパスに登録すれば県警に届けた事と同じに成るシステムで個別に県警や登山口では届が不要なシステムである。) <http://www.mt-compass.com/> コンパス 5 月なのに初夏の様な薄い服装で長い黒戸尾根に竹宇駒ヶ岳神社脇の吊り橋からスタートする。

タダひたすら登るのみで、登山道に僅かに雪が出だした所に「刀渡り」の岩場が有らわれ難なく通り過ぎる。黒戸山の山腹を巻く様に下りだすと、

5 合目の小屋跡と鞍部に着く。5 合目からは急な階段から急登りが始まるが、1 時間 30 分で七丈小屋に着く。小屋は第一小屋 (酒とインスタント食品の売店のある管理人の居る建屋) と寝るだけの第二小屋があり、我々は第二小屋泊となり 4500 円で泊り、お汁粉とコーヒーパックを出された。必要なお湯と水は室内のポットとポ



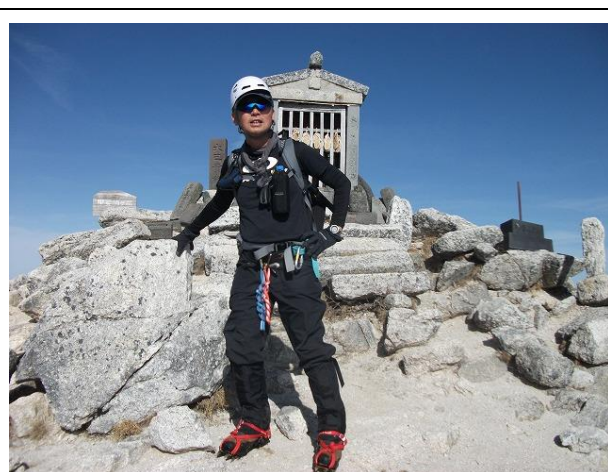
刀渡りの岩場

リタンから頂いて室内で自炊した。寝具は毛布であるが一晩中ストーブが炊かれ、寒くは無く、泊り客も合計4人で広々と使用出来た。トイレは外だが奇麗であった。

5/3 (日) 快晴を思わせる天気で風が少しあるが心地よい中で、スタートとなった。雪が少ない状況で悩むが30mロープとスリング、カラビナ等の用具と非常用品、食糧などを持ち登ると15分位で斜面に雪は出て来てアイゼンを履く、いずれにしても中途半端で履かなくても嫌らしい、履いても岩場では嫌らしい状況で履く方を選んだ。

8合目～9合目と高度を上げるたびに周囲の景色は見渡せる様になり、北岳の南ア・八ヶ岳・北アや富士山の山並みが望めた。小屋から3時間で頂上に着き記念写真と休憩の後に下山を開始したが、9時ころには雪が緩んできていたのでアイゼンに着く雪だるまに注意して慎重に下りて行った。下山は2時間で小屋まで着く事ができ、まだ10時であり、泊らないで下山する事にして後5時間の長い下りを選んで黙々と歩いた。

南アルプスの初参戦の狩野さん曰く、南アルプス恐るべし、と長いアプローチに心に刻んだ様だ。



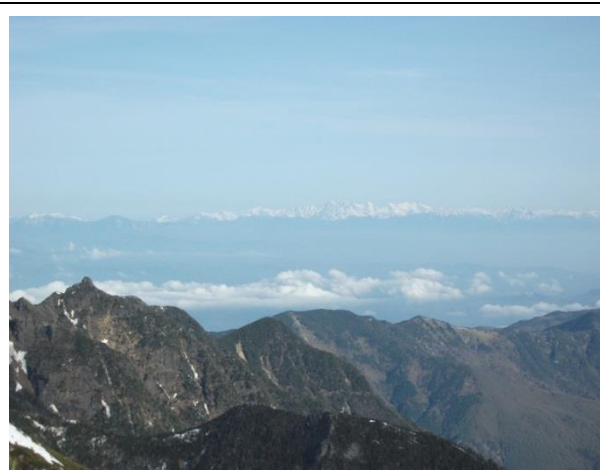
山頂の狩野さん



南アの盟主（北岳の白根三山）を望む。



8合目付近より上部を望む。



北アルプスまでも望まれた。

最後に今回の10時間行動で狩野さんの夢が南アの山々に膨らんだか？萎んだか？ともあれ、その1歩で在る事には間違いが無い山行と成ったであろう。 文責：田中（記）